

どうして初乳を飲まないのか、どうしたらいいのか。

根室西部事業センター 第三家畜診療課 獣医師 加藤 肇



「うちの子牛は初乳をなかなか飲まない」とか「初乳を飲ませているけど病気になる」という相談を最近よく聞きます。さて、どうしたらよいのでしょうか。

まず、どうして、初乳を飲まなくなるのか。大部分の農家の方は、写真1のように、外陰部から胎子の足が見えた時点で、羊膜を破って胎子を牽引するのではないのでしょうか。



写真1

しかし、この段階では、子宮頸管がまだ十分に開口しておらず、強い力で牽引しなければなりません。さらに、写真2のように外陰部が十分に緩んでいないため、この段階で強い力で牽引すると、外陰部により、胎子の頭部を強く圧迫することになります。

これは、胎子の頭部と舌が浮腫

を起こし、子牛が嚙下障害を起こして飲めなくなる原因になります。

また、写真3のように頭部が完全に外陰部の外まで露出した状態では、臍帯が完全に切断され、胎盤と臍帯を経由して



写真3

写真2

た酸素の供給がストップして苦しそうな様子になります。しかし、この時、胎子の胸部は適度の断続的な力で圧迫されることで、両鼻孔と口からノロ(子宮内にもともと胎子の肺と気管支に充填されていた白い粘液のこと、妊娠中に肺から分泌された液であり、羊水ではありません)を排出します。ノロを出すことにより、胎子の気道は掃除され、呼吸しやすくなります。胎子の頭が外陰部から完全に脱出した段階で胎子を牽引すると、ノロが気管や気管支に溜まったまま産

まれてきます。これも、子牛が初乳を飲まない大きな原因の一つになります。皆さん、ジョッキのビールを飲みましたあと「ハー」と息を出しますよね。ものを飲み込む嚙下という動作は(息を止める↓嚙下する↓息を吐く)という一連のものを繰り返すことにより成り立ちます。ノロが気管に残っていると、この息を吐きだす行為に障害が起こります。そのため、初乳を飲まずときに子牛がむせたり、せき込んだりして初乳を飲めなくなるのです。ノロは時間がたてば、気管や気管支から吸収されて気管内から消滅しますが、それには12〜24時間以上の時間を要します。つまり、無理なお産をさせると子牛は初乳を飲まなくなるのです。

初乳は分娩後なるべく早く搾乳しましょう。初乳のIgG(子牛を病原体から守るための初乳中の免疫の本体のことです)濃度は、分娩後1時間毎に3・7%減少します。初乳の品質をBrix屈折計で調べましょう。Brix屈折計は安価で壊れにくく、正確に初乳の品質を判別可能です。0〜32%のスケールでBrixを測定する屈折計を購入することをお勧めします。Brix値22%以上の

